【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公表番号】特表2019-509700(P2019-509700A)
【公表日】平成31年4月4日(2019.4.4)
【年通号数】公開・登録公報2019-013
【出願番号】特願2018-550870(P2018-550870)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　21/433　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/92　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　21/2743　(2011.01)
Ｇ０６Ｑ　50/10　(2012.01)
Ｇ０６Ｑ　30/02　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　21/433
Ｈ０４Ｎ　5/765
Ｈ０４Ｎ　5/76
Ｈ０４Ｎ　5/92　０６０
Ｈ０４Ｎ　21/2743
Ｇ０６Ｑ　50/10
Ｇ０６Ｑ　30/02

【手続補正書】
【提出日】平成31年3月18日(2019.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザ機器を用いてデジタルメディアコンテンツを作成するための方法であって、
ａ）前記機器上のセンサを起動し、それにより、前記機器の周囲の環境からの入力を受信することと、
ｂ）前記機器への前記入力をキャッシュに格納し、それにより、前記入力を記録し、記録コンテンツを作成することと、
ｃ）ユーザから、前記入力の記録を停止するためのユーザ入力を受信することと、
ｄ）前記記録を終了し、前記記録コンテンツを、前記ユーザ機器上の記憶媒体の特定領域であって前記ユーザがアクセスできない特定領域へコピーすることと、
ｅ）前記記録コンテンツを、前記ユーザ機器からリモートサーバへ自動的に伝送することと、
ｆ）前記記録コンテンツを、前記ユーザ機器から自動的に削除し、前記ユーザが前記記録コンテンツにアクセスすることを防止し、それによって前記ユーザが前記記録コンテンツを利用することを防止することと、
を備え、
前記ユーザ機器は、民生用モバイル機器である、方法。
【請求項２】

前記民生用モバイル機器は、
携帯電話機、
スマートフォン、
タブレット型コンピューティングデバイス、及び、
要求される性能を有する現在又は未来のあらゆるデバイス、
のうちの少なくとも１つである、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
ステップｅ）が実行される前に、ステップｄ１）が実行され、
ステップｄ１）は、
前記ユーザからユーザ作成テキストコンテンツを受信し、前記ユーザ作成テキストコンテンツを前記記録コンテンツに関連付けること、
を備え、
前記ユーザ作成テキストコンテンツは、前記記録コンテンツと共に前記リモートサーバへ伝送される、
請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記センサは、
ビデオカメラ、
画像カメラ、及び、
マイクロフォン、
のうちの少なくとも１つである、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記ユーザ作成テキストコンテンツは、
タイトル、
前記記録コンテンツの説明、
前記記録コンテンツを示すテキスト、
前記記録コンテンツに関連付けられるタグ、
のうちの少なくとも１つを含む、請求項３に記載の方法。
【請求項６】
前記方法は、
ｇ）前記リモートサーバと関連のあるサービスから、前記サービスの前記ユーザアカウントに予め定められた金額が入金されたという通信を受信する、
ステップを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記通信は、前記記録コンテンツのバージョンが、一般への公開に使用可能であることを示す、
請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記記録コンテンツは、
画像、
ビデオクリップ、及び、
音声記録、
のうちの少なくとも１つである、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記方法は、前記サービスにより要求された前記ユーザからの前記記録コンテンツの種類、または、内容を示す前通信を前記サービスから受信するステップを含む、請求項６に記載の方法。
【請求項１０】
前記前通信は、前記サービスにより要求された前記ユーザからの前記記録コンテンツに対して、前記サービスにより支払われる金額を示す、請求項９に記載の方法。

【請求項１１】
前記サービスにより要求された前記ユーザからの記録コンテンツの種類は、記録コンテンツに対する視聴者の嗜好の変化に基づく、請求項９に記載の方法。
【請求項１２】
前記一般に公開される記録コンテンツに用いられるデータは、モバイルデータサービスプロバイダに対して収益を生み出し、前記収益は、前記モバイルデータサービスプロバイダ（テレコムオペレータ）と、前記サービスとで分配される、請求項７に記載の方法。
【請求項１３】
ステップｇ）は、前記記録コンテンツが、一般への公開に使用可能とされることが、前記サービスにより承認された後にのみ実行される、請求項６に記載の方法。
【請求項１４】
前記予め定められた金額は、前記記録コンテンツの内容に基づく、請求項６に記載の方法。
【請求項１５】
前記予め定められた金額は、
前記記録コンテンツの画像品質、
前記記録コンテンツの長さ、
前記記録コンテンツに記録されたイベント、
前記記録コンテンツに記録されたイベントの参加者、
前記記録コンテンツに記録されたイベントの種類、
前記記録コンテンツに含まれる音声コンテンツの量、
前記記録コンテンツに含まれる映像コンテンツの量、
のうちの少なくとも１つに基づく、請求項１４に記載の方法。
【請求項１６】
前記記録コンテンツのバージョンは、前記記録コンテンツが前記サービスにより承認された後にウエブサイト上に公開される、請求項６に記載の方法。
【請求項１７】
前記記録コンテンツのバージョンは、前記サービスの特定の加入者に送信される、請求項６に記載の方法。
【請求項１８】
ユーザ機器を用いてデジタルメディアコンテンツを作成するためのシステムであって、
前記ユーザ機器上のセンサを起動及び停止するためのセンサモジュールと、
前記センサモジュールと通信し、前記センサにより記録されたコンテンツを受信するためのコンテンツ作成モジュールであって、前記センサによる記録が終了すると、記録コンテンツが作成される、コンテンツ作成モジュールと、
前記センサにより記録された前記コンテンツをキャッシュに格納し、前記コンテンツの記録が終了すると、前記記録コンテンツを、前記ユーザ機器の特定領域であって前記ユーザ機器のユーザがアクセスできない特定領域へ自動的に伝送するための記憶モジュールと、
前記記録コンテンツを、前記ユーザ機器からリモートサーバへ自動的に伝送するための送信／受信モジュールと、
を備え、
前記記録コンテンツは、前記記録コンテンツが前記リモートサーバへ伝送されると、前記ユーザ機器から自動的に削除され、それにより前記ユーザがさらに前記記録コンテンツを他のリモートサーバへ伝送することを防止する、システム。